

# 「航空技術、車活用も」

## 静岡理工科大(袋井) 矢野さん ブラジル専門大学へ



留学での目標を語る矢野幸子さん＝袋井市の静岡理工科大

静岡理工科大(袋井市)理工学部3年の矢野幸子さんの22日、静岡市駿河区出身の矢野は、入学倍率約100倍というブラジル航空技術大(ITA)への門をたたいた。

矢野さんは文部科学省の留学時奨学金支援制度に応募し、「世界に通用する次世代の自動車を作りたい」とPRして留学を勝ち取った。

ITAは有数の旅客機メーカーエンブラエル社(ブラジル)と技術者養成で提携している。ITAと静岡理工科大は16年に交流の覚書を締結。静岡空港に離着陸する旅客機を同社が製造しているなど

本県との縁もある。

ITAではドローンを題材に機械の動きをコントロールする「制御工学」や、車などの開発段階で、コンピュータ上で完成後の動きをシミュレーションする「モデルベース」の開発などを学ぶ。

車が好きで、自動車に携わる仕事に就くのが夢という矢野さんは「車に興味を持ってもらうにはデザインなど外見に加え、他にはないサービスやシステムが必要」と話す。航空技術の制御分野やドローンの安全技術も、自動車に役立つ可能性が

あると考えている。

矢野幸子さんは13日、県庁に川勝平太知事を訪ね、ブラジル留学への意欲を伝えた。

静岡理工科大で学生フォーミュラ・カー活動に携わり、留学先でも関連クラブに参加予定という。「将来は陸と空が融合した新しいモビリティが造られると思う。国際交流力や幅広い知識を身につけたい」と強調した。川勝知事は「草の根の大使。友好の絆を強めてほしい」と激励した。